

# せらび

第六十九号

一発 行一  
社会福祉法人  
せらび

0144-75-2328

## 笑いと穏やかな空気に包まれて 「みんな地域に生きるひと」 アグネス・チャン講演会行われる

四月十日、苫小牧市文化会館においてアグネス・チャン氏をお迎えし、「みんな地域に生きるひと」ともに支え合う街づくりに向けて」をテーマに講演会が行われました。この講演会は、社会福祉法人せらびが北海道から委託を受けた東胆振圏域施設拠点機能支援事業の一環として企画したもので、当初は、二月二十日の開催の予定でしたが、当日は、大雪による便の欠航のため急遽中止となったため、この度の開催となりました。

この日は、主催者を代表して菅原理事長より挨拶の後、講演が始まりました。アグネス氏は時折ユーモアを交えながら日本ユニセフ協会大使としての活動や、海外での豊富な経験に基づいた内容の話や、地域問題、差別問題などから人と人が支え合うことの大切さについて語りかけました。

後半には、アカペラで「春夏秋冬」を披露するなど、和らいだひとときを演出。場内は、笑いと穏やかな空気に包

## 親子。パン教室実施

アルドールでは、北海道からの委託事業「施設拠点機能支援事業（東胆振圏域）」の一環として、十一月十五日（土）と三月二十一日（土）に親子パン教室を開催しました。両日合せて、十一組二十五人の参加があり、ピースタッフ（普段、パン作りに携わっているメンバー）の手ほどきを受けながらパン作りを行いました。

参加者の皆さんは、パン生地の感触やパンが形になっていく過程、また、普段目にすることのない機械や設備などにも興味を持って、ピースタッフへ質問なども交え、楽しまれていました。お昼には、焼きたてのパンとボランティアの方が作ってくださったシチューで会食をし、パン作り



の感想や、普段の活動などの話をしながら交流を深めることができました。委託事業としては二十年度で終了しましたが、今年度に入り、市内のことばの教室の父母の会からのお問い合わせがあり、実施に向け準備を進めているところです。引き続き、事業所の設備や機能を地域の方々にも還元できるように活動を続けていきたいと考えています。

まれ、参加者の盛んな拍手の中で講演を終えました。講演後、せらび後援会の名越会長より挨拶を行って閉会しました。この日は延期によるトラブルなどがあつたにも関わらず、多くの方々に来場いただきました。会場ではアルドールのパンの販売や啓発パンフレット、法人事業所の活動を紹介したパンフレットなどを配布し、地域で生活する障がい者の理解を求める活動を行うなど、「リベンジ」の講演会は無事終了することが出来ました。



熱く語るアグネス・チャン氏

## すずらん101を リニューアル

### ”利用しやすい”と好評

就労支援センターまろにえでは、メンバーやスタッフの増加により、昨年六月から新たな活動拠点「すずらん101」を開設し、スタッフルームやメンバーの休憩場所として利用していましたが、利用者ミーティングやメンバーがよりくつろげる場として有効活用してもらえるようにリニューアルしました。利用者からも「利用しやすくなった」などの声も聞かれ、利用も増えつつあります。「すずらん101」で様々なメンバーが利用しやすく、ホッとできる空間となるよう、これからも工夫を行っていききたいと思っております。



## 花便り

アルドール入口横の花壇では、今年も後援会員の亀井様ご夫妻から寄贈していただいた色とりどりのチューリップや、パンジー、マリーゴールドなどの花々が風に揺らめきながらも力強く咲き誇り、訪れる方々を楽しませながら初夏の到来を告げております。寄贈してくださった方々がありがとうございます。



## ご支援有難うございます

法人、施設 後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。(平成二十一年一月十七日～平成二十一年五月十八日)

### ▽ 法人寄付

長屋スミ子様、平野博様、東北福祉大学様

### ▽ 後援会会費

㈱プロスミート北海道、佐藤和三様、黒滝英男様、西野茂樹様、山内一義様、石黒信雄様、亀井寿朗様、佐次清亮様、高島恵子様、今秀昭様、名越晴男様、上泉隆様、上泉富貴子様、北岸由利子様

.....◇.....

平成二十一年度の会費納入ご協力、お願い致します。

- 年会費は左記の通りです。
- 個人会員 一口 五千元
- 団体会費 一口 二万円